

# GOOD IDEA COMPANY、ナウキャストの店舗開発 DX ツール「DataLens 店舗開発」 を導入し、全国の物件情報をリアルタイムで評価できる仕組みを構築

次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現する Finatext グループの株式会社ナウキャスト(本社:東京都千代田区、代表取締役 CEO: 辻中 仁士、以下「当社」)は、様々な観光地でスイーツ専門店を展開する GOOD IDEA COMPANY 株式会社(本社:奈良県北葛城郡、代表取締役:竹森 俊彦、以下「GOOD IDEA COMPANY」)が、当社の店舗開発 DX ツール「DataLens 店舗開発」を導入したことをお知らせします。

## GOOD !DEA COMPANY

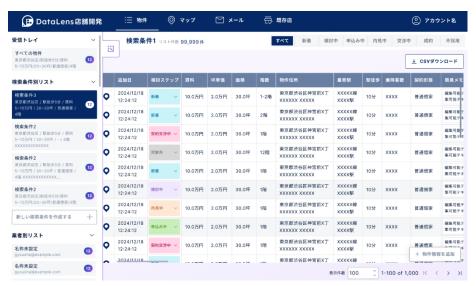


「DataLens 店舗開発」は、クレジットカード決済データや人流データなどのオルタナティブデータと生成 AI を用いて物件情報の収集・管理の効率化と物件選定の最適化を実現し、店舗開発者のデータドリブンな意思決定を助けるツールです。

原宿竹下通りや沖縄の国際通りといった観光地にて、いちごあめ専門店「Strawberry Fetish」、わたあめ専門店「TOTTI CANDY FACTORY」などのスイーツ専門店を展開する GOOD IDEA COMPANY は、従来「物件情報をメールで収集・整理」といった属人的かつ非効率な店舗開発プロセスに課題を抱えていました。全国から日々届く数百件の物件情報の中から、同社が求める"観光 S 立地"の案件を迅速に見つけ出すことは容易ではなく、情報量の多さが意思決定スピードを鈍化させる要因となっていました。さらに、観光地物件は競争が激しく、先着順で契約が進むケースが多いため、スピードの遅れが機会損失につながっていました。

「DataLens 店舗開発」は、AI-OCR などを活用して多様なフォーマットの物件情報を自動でデータ化し、これまで 煩雑だった情報抽出の工程を大幅に効率化します。取り込んだすべての物件情報は地図上で可視化され、自社の既 存店データや人流、決済といったオルタナティブデータと掛け合わせることで、出店候補地選定を精緻化できます。

「DataLens 店舗開発」の導入により、GOOD IDEA COMPANY は物件情報の取得にかかる時間を大幅に短縮。特に S 立地案件の早期発見と優先判断が可能になり、出店スピードと精度の両方が向上しました。さらに、既存店データや人流統計を活用した売上予測モデルの構築も進めており、観光地立地における出店 ROI の可視化にも成功しています。



「DataLens 店舗開発」 物件情報画面イメージ

## ■GOOD IDEA COMPANY 株式会社 店舗開発担当 福士晃平 様からのコメント

店舗開発は、「スピード」と「精度」が求められる非常に難しい領域だと感じております。弊社のように観光地の一等立地に絞って出店している業態では、1日の判断の遅れが"出店機会の損失"につながることも珍しくありません。「DataLens 店舗開発」で情報を整理して見える化することで、開発スピードも精度も大きく向上しました。全国の観光地で最適な立地を選び抜くためのツールとして、さらに活用していきたいと考えています。

## <導入事例インタビュー>

• 【DataLens 店舗開発】全国の物件情報をリアルタイムで評価できる仕組みを構築(GOOD IDEA COMPANY 様)

## 【GOOD IDEA COMPANY 株式会社】

会社名 : GOOD IDEA COMPANY 株式会社

代表者 : 代表取締役 竹森 俊彦

設立 : 2016年12月

所在地 : 奈良県北葛城郡広陵町馬見北 4-6-7 公式サイト : https://goodideacompany.jp/

## ■「DataLensHub」シリーズについて

「DataLensHub」は、確度の高い潜在顧客や好条件の物件をいち早く発掘できる業界特化型 SaaS シリーズです。インテントデータ(※)を含む複数の 3rd パーティデータを活かして、商業リーシングや店舗開発など、業界特有の業務を支援します。3rd パーティデータだけでなく、顧客企業自身が持つ 1st パーティデータを掛け合わせた分析も可能です。技術的には様々なデータおよびデータに基づいたロジック、生成 AI を組み合わせながらも、「気がつけばデータを活用している」というシームレスな顧客体験を指向しており、通常業務にスムーズにデータ利活用を取り入れることができます。

※インテントデータ:ユーザーや企業が特定の製品やサービスに関心を示していることを示すデータのこと。ユーザーのオンライン行動や検索履歴、コンテンツの閲覧パターン、ソーシャルメディアでの発言などを分析することで得られる。

## 「DataLens 店舗開発」

人流データや決済データなどの 3rd パーティデータをベースとした商圏分析機能に当社の生成 AI 技術を組み合わせた店舗開発 DX ツールです。煩雑な情報管理と勘と経験に頼らざるを得なかった出店判断を抜本的に効率化し、店舗開発担当者の「大量の店舗物件情報の中から自社に最適な物件を効率的に見つけたい」という声に応えます。

サービス紹介ページ:https://lp.datalenshub.com/property

サービス紹介動画: <a href="https://youtu.be/thtBJXRq72Q">https://youtu.be/thtBJXRq72Q</a>

#### 「DataLens 商業リーシング」

インテントデータ、開業データ、求人データ等の 3rd パーティデータを活用してテナントの出店意向・傾向を抽出し、 大型商業施設を運営する不動産ディベロッパーのリーシング営業を抜本的に効率化します。SaaS としての提供のほか、3rd パーティデータに加えて不動産ディベロッパー自身が有する店舗やブランドの 1st パーティデータを組み合わせ、専用のリーシング営業情報基盤を構築することも可能です。

#### 「DataLens 商圏分析」

飲食店やフィットネススタジオ等の店舗ビジネス事業者や不動産ディベロッパー向けの商圏分析サービスです。人流 データや決済データ等の複数の 3rd パーティデータを活用して商圏内の消費者ニーズの「今」を捉えます。

以上

## 【Finatext グループと株式会社ナウキャストについて】

Finatext グループは、「金融を"サービス"として再発明する」をミッションに掲げ、次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現するフィンテック企業グループです。金融サービスのあるべき姿をユーザー視点から見直し、パートナー事業者と共に新しい金融サービスを開発する「株式会社 Finatext」、オルタナティブデータ解析サービスの「株式会社ナウキャスト」、証券ビジネスプラットフォームを提供する「株式会社スマートプラス」、次世代型デジタル保険の「スマートプラス少額短期保険株式会社」といった事業会社を擁し、「金融がもっと暮らしに寄り添う世の中」の実現を目指しています。

FINATEXT

HOLDINGS

会社名 ・ 株式会社 Finatext ホールディングス

代表者 : 代表取締役社長 CEO 林 良太

証券コード : 東証グロース市場 4419

設立 : 2013年12月

所在地 : 東京都千代田区九段北一丁目8番10号

住友不動産九段ビル9階

公式サイト : https://finatext.com/

#### ■株式会社ナウキャスト

株式会社ナウキャストは、東京大学経済学研究科渡辺努研究室における「東大日次物価指数(現:日経 CPINow)」プロジェクトを前身として 2015 年に設立された、オルタナティブデータのリーディングカンパニーです。次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現する Finatext グループにおいて、ビッグデータ解析事業を担っています。POS データやクレジットカードの決済データ、求人広告データなどの「オルタナティブデータ」を多数扱い、生成AI を活用した事業者の業務支援に取り組んでいます。また、独自の経済指数を開発し、経済統計のリアルタイム化、企業の経営戦略の見える化を行い、国内外 250 社以上の金融機関、シンクタンク、政府、政府系金融機関、海外ヘッジファンド等の資産運用、経済調査業務を支援しています。

会社名: 株式会社ナウキャスト

代表者 : 代表取締役 CEO 辻中 仁士

設立 : 2015年2月

所在地 : 東京都千代田区九段北一丁目8番10号 住友不動産九段ビル9階

公式サイト: https://nowcast.co.jp/